

## 松山聾学校に来てください

### ～ 平成29年度の主な行事予定です

今年度も、様々な行事を通して、聴覚障がいのある子供同士の交流を深め、地域の方々に松山聾学校のことを知っていただこうと考えています。主なものは次のとおりです。是非お越しください。

#### 運動会

平成29年5月20日(土)

※ 雨天時は体育館で実施します。

#### 幼児体験学習・幼稚部説明会

第1回 平成29年6月22日(木)

第2回 平成29年10月12日(木)

※ 聴覚障がいのある幼児さんが対象です。教育相談もできます。

#### 学校公開

第1回 平成29年6月17日(土)

第2回 平成29年11月23日(木・勤労感謝の日)

第3回 平成30年2月3日(土)

※ 聴覚障がい教育に関心のある方は、どなたでも参加できます。また、教育相談もできます。

※ 今年度は、愛媛県特別支援学校友達いっぱいプロジェクト事業を併せて開催します。詳細は、後日お知らせいたします。

#### サマースクール

平成29年7月27日(木)

※ 聴覚障がいのある幼児さんから高校生の方が対象です。手帳の所有や聴力レベルに関係なく参加できます。集団での遊びや学習会を通して交流を深めます。

#### 高等部体験入学

平成29年9月8日(金)

※ 聴覚障がいのある中学生の方が対象です。身体障害者手帳の所有や聴力レベルに関係なく参加できます。授業体験等があります。

#### ウィンタースクール

平成29年12月22日(金)

※ 聴覚障がいのある乳幼児さんが対象です。

### 今年度の特別支援教育コーディネーター

幼稚部: 高須賀妙子  
小学部: 久保久美子  
中学部: 金並正教 佐伯秋浩  
高等部: 今岡洋一

個別の教育支援計画の作成や、学校以外の機関との連携に関する  
ことについて担当させていただきます。  
お気軽に御相談ください。

1年間、よろしくお願いいたします。

## 昨年度の事業報告です ～ 平成28年度の主な地域支援事業から

### 教育相談、小・中学校等への訪問支援

教育相談、訪問支援合わせて延べ522件の支援を行いました。昨年度よりも59件増加、一昨年と比較すると109件の増加となり、平成19年度に特別支援教育の体制になってから最も多い支援件数です。

小・中学校等の先生方や保護者の方から求められたさまざまな支援に応じることができました。

	保育所	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	特支学校	その他	合計
教育相談件数	84	73	117	23	3	30	115	445
訪問支援件数	2	2	40	11	4	3	22	77

### 新居浜市聴覚障がい児相談事業への協力

新居浜市こども発達支援センターで行われる教育相談に月1回、教育相談担当者を派遣し、保護者の方に対する聴覚障がいについて相談や、聴覚障がいのある子供への言語指導等を行いました。

### 学校公開

年間3回の学校公開を行い、延べ82名（昨年より24名の増加）の方に、本校の授業を参観していただきました。

### サマースクール・ウィンタースクール

サマースクールは、7月末に行い、本校の幼児児童生徒が27名、校外から19名が参加し、各部に分かれて子供同士の交流を楽しみました。

ウィンタースクールは、12月末に行い、教育相談の乳幼児が保護者と共に活動を楽しみました。

### 公開講座

夏季休業中に、本校の教員が講師となり、幼稚園、小・中学校等の先生方を対象とした研修会を開催しました。39名の方に参加していただきました。

### 難聴幼児児童生徒の担任者会

6月の第2日曜日に本校を会場として開催し、愛媛大学教育学部教授である立入哉先生と全国難聴児を持つ親の会副会長の鎌田浩二さんの講演、人工内耳装用児の会「うさぎのわ」の皆さんによる『笑顔』の手話歌披露がありました。参加者は、教育・療育関係33名、保護者32名、本校教員16名の計85名となり、本校主催となつてからの最多となりました。

なお、次年度からは「愛媛 難聴児を育む会」として新たにスタートすることになっています。

### 松山聾学校ネットワーク会議

第1回目は8月に県下の難聴特別支援学級の担任の先生方にお集まりいただき、研修と情報交換を行いました。第2回目は、聴覚障がいのある乳幼児の療育機関である愛媛人工内耳リハビリテーションセンター、愛媛県視聴覚福祉センターと本校の3機関の担当で情報交換や連携の確認を行いました。

### 授業交流

小学部で延べ4回実施し、授業を通して交流を深めました。本校の子どもたちにとってもよい刺激になりました。

# 第36回少年の主張全国大会～わたしの主張2016～より

昨年11月に行われた「少年の主張」全国大会で、全国の中学生のトップ（最優秀作）に選ばれたのは、人工内耳を装着した聴覚障がいのある生徒の作品でした。この度、愛媛県男女参画・県民協働課の協力を得て、独立行政法人国立青少年教育振興機構から掲載の承諾をいただきましたので、御紹介いたします。

## 内閣総理大臣賞受賞作品

### 「障がいは個性」

岐阜県 関市立旭ヶ丘中学校 3年 大見 夏鈴（おおみ かりん）さん

みなさんは、障がい者についてどう思いますか。私は、自分が障がいをもっているのに、健常の人にどう思われているのか気になります。

私は2才の時に罹った病気の後遺症により、耳が全く聴こえなくなりました。そして、人工内耳をつける手術をしました。しかし、はっきりと聴こえるようになったわけではないので、困ることがたくさんあります。例えば、字幕のついていないテレビ番組を観ても内容が全く分かりません。プールでは人工内耳を外せば何も聞こえない状態です。みんなが話していても話の輪にうまく入っていけないこともあります。また、歌は好きですが、自分の歌う声が聴こえないため、自信をもって歌うことができません。

みなさんは、障がい者はかわいそうだと思いますか。

耳の聴こえない私は、かわいそうですか。

今、日本の自殺者は年間2万5千人近くいるそうです。その中に、障がい者は何人いるでしょう。障がい者をかわいそうと思うより、悩んで辛い思いをしている人たちを助けてあげてほしいと思います。障がい者の中には、サークル活動などで楽しく過ごし、自分の障がいをきちんと受け止めている人たちが多いいです。

私は障がいを個性だと思っています。私は、聴こえないことをつらいと思う時もありますが、悲しくはありません。それ以上に楽しいことがあるからです。それは、手話で話をする事です。手話は聴こえない人の欠かせない言語です。声での会話は、テレビを観ながらでもできますが、手話での会話は、相手に集中しないと成り立ちません。適当に聞くのではなく、相手の表情や口の動き、手の動きを見ながら相手の気持ちを考えて聴きます。つまり、いつも相手と正面から向き合っているのです。私は手話のそんなところが好きです。だから、聴こえる聴こえないに関係なく、多くの人と手話ができれば嬉しいです。

みなさんは、車いすバスケットを観たことがありますか。私は、間近で観たことがあります。とても激しいスポーツです。車いす同士がぶつかり合う時などは、あまりの激しさに目を覆いたくなります。健常者のバスケットとリングの高さは一緒なのに、車いすに座ったまま軽々とシュートを打ちます。その素晴らしさに、観ている方も非常に盛り上がります。

また、盲聾と呼ばれる、目が見えず、耳も聞こえない方たちがいます。どうやってコミュニケーションをとっているのかわかりますか。実は、その方法の一つに触手話があります。字の通り、手の感覚で手話を読み取ります。先程、手話は相手に集中しないと会話が成り立たないと言いましたが、触手話は触れ合わないと言った会話が成り立ちません。その分、より深く相手と気持ちを分かち合えるような気がします。友達と目を閉じて触手話をしてみたことがあります。とても難しく、一部しか言葉が通じませんでした。盲聾の方はすごいなあと思いました。私たちは、障がいがあるからこそ、相手とのコミュニケーションを特に大切にしているのです。けれども、困っているときは助けてください。話がうまく通じない時は、紙などに書いて見せてくれると助かります。

このように、どんな障がいをもっているに、本人の考え次第で楽しく生きることが出来るのです。今、便利な世の中になっていますが、障がいのある人もみんなと無理なく暮らせるようになるには、もう少し時間がかかる気がします。私は、多くの人とコミュニケーションをとり、色々な意見を聞きたいです。そして、みんなが幸せに暮らせる社会の一員になりたいです。私の将来の夢は助産師になることです。障がいをもった赤ちゃんが生まれても「よく頑張ったね」と笑顔で迎え入れることができる助産師になりたいです。私は、これからも自分の障がいを個性として、コミュニケーションを大切にしながら生活していきます。

# 愛媛 難聴児を共に育む会の発足について

「難聴児童生徒の担任者会」は、愛媛人工内耳リハビリテーションセンター長である高橋信雄先生が、愛媛大学で教鞭をとられていた平成6年に始められた会です。平成25年からは、松山聾学校が中心となり、愛媛県難聴児を持つ親の会、愛媛人工内耳装用児の会、愛媛大学教育学部の協力を得て行って参りました。

新年度が始まってから早い時期にこうした研修会を開催することは、ニーズが高いことから参加者も多く、昨年度は85名の参加者が研修をしました。また、最近では保護者の参加も増えてきました。

これらの状況を踏まえ、この度、会の名称を「愛媛 難聴児を共に育む会」と改め、愛媛大学教育学部特別支援教育講座の加藤哲則先生を代表とし、愛媛大学、愛媛県難聴児を持つ親の会、愛媛人工内耳装用児の会、県内難聴特別支援学級代表、愛媛県視聴覚福祉センター、鷹の子病院愛媛人工内耳リハビリテーションセンター、松山聾学校の共催の形で開催することになりました。そして、今年度1回目の「育む会（学習会）」が4月15日に愛媛大学で行われました。

2回目の「育む会」は次の日時で開催する予定です。聴覚障がいのある子供に関わる方なら、教職員、保護者を問わずどなたでも参加できます。是非御参加ください。

## 第2回 愛媛 難聴児を共に育む会

日時 : 平成29年5月13日(土) 11:00 ~ 15:30

場所 : 愛媛県視聴覚福祉センター

内容 : 講演、交流会、分科会 等

※ 詳細は、本校の担当者である高須賀か久保までお尋ねください。

## サマースクール(中学部・高等部)について

恒例の松山聾学校サマースクールは、7月27日(木)に本校を会場として行われます。活動は、それぞれ幼稚部、小学部、中学部・高等部に分かれて行います。

中学部・高等部は、これまで河原学園の体験授業やドッグフォーライフジャパンの介助犬に関する学習会を行ってきました。今年はお金に関する勉強です。

今年、**司法書士の木原道雄先生**を講師としてお招きします。

「**賢い消費者になるために**」と題して、消費者トラブルの事例やそれに遭わないための心構えについて学習します。保護者の方の参加も可能です。たくさんの参加をお待ちしています。

## 編集後記

新学期がスタートしました。みみちゃん第75号をお届けいたします。

今年度も、松山聾学校の取組や聴覚障がいに関する情報を、今まで以上に積極的に発信していきたいと思っております。1年間よろしくお願いたします。